

フロムサウス
from

SOUTH

vol. 36 2023年
6月25日発行
長崎県立長崎南高校関東同窓会
会報



長崎南高校関東同窓会総会 第30回

そろそろ ソローリと 会ってみようや

コロナに勝って “カツ！”

勝弘の小屋屋

再会を期して

心からのおねがい

皆様、大変ご無沙汰をしております。気候不順な中いかがお過ごしでしょうか？この3年間コロナ騒ぎのため関東同窓会としてほとんど活動ができず誠に残念でした。

この間、長崎の方では長崎新幹線が部分開業したり、知事や市長が退かれたりとか、結構な変化がありました。直近では観光客が増加中で活気が戻りつつあるとの話を同窓会本部より伺っています。

また今年10月には4年ぶりに「くんち」が奉納されるとのことで、少しずつ平常に戻りつつあるようです。

東京の方でも、秋ごろには同窓会活

動を再開できるのではと考えています。現在、事務局の前田さんを中心に10月28日(土)の午後に関東同窓会が開催できないか検討中です。詳細は、下記と本会報次号をご覧ください。

実は大変残念ながら、会報発行と送付にかかる費用すらも枯渇している状況です。したがって、関東同窓会維持のために、物価上昇のおり心苦しい限りではありますが、年会費の振込みをお願いしたいと考えております。私や役員一同いたしましたしましては、何とか関東同窓会を維持して、会員皆様の情報交換や懇親の場としてお役立ちしたいと考えておりますので、皆様におかれましては主旨ご高配のうえ、添付振込用紙にて振込みいただきますようお願い申し上げます。最後にりましたが、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

長崎南関東同窓会会長

11回生 江 勝弘

他役員一同

どうする？ 関東同窓会 2023

2019年 アラスカ総会(日比谷) 26回生 → 2020年=中止→2021年=中止→2022年=中止

★2023年 とんかつ総会★

2023年10月28日(土) 14時～ とんかつ まい泉 青山本店 【表参道】

第30回の記念総会になります。コロナ明け4年ぶりの開催で、まだ予想が難しい部分もありますが、静かな談笑を楽しめるような総会にしたいと思います。

今回は全員着席、予約制でコース料理。出席者目標は100名です。無理をしないで出席していただければ幸いです。当日の「飛込み」はご遠慮ください。

回生ごとの二次会開催を推奨します。詳細は9月にお知らせします。ご予約ください

長崎の街と、南高と

退任挨拶に代えて

会長代理 10回生 小岩寿樹

久しぶりの同窓会の開催ですが、コロナ禍で生活環境が変わってしまいました。この3年間、同窓生の皆様はどう過ごされていたのでしょうか？

私も齢六十九を過ぎ、ストレッチやウォーキングなどで、アンチエイジングを実践していますが、なかなか厳しい日々です。

私が関東同窓会の会長を引き受けてから、代理の時代を含め、およそ10年が経ちましたが、体力や知力の低下により「そろそろかな…」と感っております。

南高の同窓会と長崎市やビードロ会とのつなぎ役で、皆様に長崎の街の情報を伝えて懐かしんでもらい、青春時代にタイムトリップしてもらおうと会長を引き受けました。果たしてその責務は全うできましたし



ようか。

この10年で、私自身も、長崎へは「帰省」ではなく「帰郷」に変わってしまい、家族構成も長崎よりさいたま、大和（神奈川）、宇都宮の占有率が高まりました。

来年の古希を前に、仙人生活を目指して、生活の基盤を家内の実家のある宇都宮に移そうと計画しています。ただ、多くの「柵」はなかなか解消し難く、数年かけての移行になりそうです。長崎の仲間との触れ合いが少なくなることが少し淋しいですが、体力と気力があれば、年一回の同窓会には出てきたいと思っています。

長期にわたり、微力な私を支えていただきありがとうございます。

遠きにおいて想うふるさとが老境の終の住処に

8回生 古知屋律子

「老後の10年間、住みたいところに住んで、そこでやれることを探す」。祖父母のころから時を刻んだ藤沢市辻堂から長崎への転居を夫が決めたととき、私はのけぞりそうでした。

なみなみならぬ長崎愛はあるものの、長男の嫁の務め、子どもの実家がなく、湘南海岸まで歩いてゆける環境、地元での活動などへの思いがよぎりながらの引越でした。長崎も変貌を遂げ、土地勘がないので取りあえず実家に落ち着くべく、埃と戦いながら片付け始めました。その過程で、両親の若い頃からの様子を、ゆっくりと追体験できたことはとてもよかったです。

また、染み入るような長崎のよさは、2〜3日の帰省や観光ではわか

らないと実感。50年も昔から外国人と触れ合ってきた街、人々のやさしさとユーモア、どの場所に立っても小高い緑に守られているような安堵感、新鮮さに底上げされたな味覚の確かさなどがじわじわと感動にかわります。車のない私たちを友人たちが誘ってくれた西海市、島原半島、長崎半島は、手軽な所にあるのに言葉も出ないほど美しく、休日に車も人も見当たらないという奇跡。

遠きにおいてふるさとを想う人たちや、本当の長崎をもっと知ってほしい他の土地の人たち、また海外の人たちが中長期に滞在できるシステムがあると、長崎は江戸末期のように人を呼び込む本来の熱気ある実力を発揮できるのに……

転居45日目の感想であり、願いです。

多摩川ハタアゲ大会

2023年4月29日（昭和の日）、京急・多摩川土手駅に近い多摩川河



川敷で長崎ハタアゲ大会 in 東京が4年ぶりに開催されました。

長崎市・在京の高校同窓会がメインとなって、また大田区の協力もあって区民も大勢参加されました。

お天気は最高だったのですが、川面の風が強くハタ上げには厳しかったかも……。一銭ハタ（？）が子どもたちに無料で配られたので、元気に走り回っていました。

南の関東同窓会には70名ほどの同窓生集まってくれて、3年分の談笑で賑わっていました。

いつもの二次会場が閉店になって

